

第 8 回介護・医療連携推進会議

場所：ケアタウンながと

開催日時：平成 28 年 8 月 23 日 14：00～15：00

出席者：下記

1：開会

2：出席者の紹介

清田哲也様（地域住民）、野村あかり様（包括支援センター）、戸高様（介護）
田島幸恵様（利用者・家族）、金田松恵（医療機関）、所賀清美、植村香江、高橋晶子、
衛藤正樹、高山明子

3：会議の目的

事業所が提供しているサービスの内容を会議で明らかにすることにより、利用者の「抱え込み」を防止し、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質の確保を図る。
また、地域における介護及び医療に関する課題について関係者が情報共有を行い、介護と医療の連携を図る。

4：サービス実施状況

要介護別 1：13名 2：3名 3：2名 4：2名
つくし入居者：9名 外部：11名
居宅 鶴望野：14名 外部：6名
看護利用者 10/20名（入院1名）

5：今後の課題

現在の平均介護度：1.5度 重度：4利用者少なく有料に入所する。 利用者は軽度の方がメイン、看取り
デイサービス利用時は減算ですが夜間訪問しているのが現状。
看護：観察→早期発見→外来のみ又は入院が短期 件数が多くなると人数もいる。

6：意見交換

戸高様：外部のエリア：弥生堤内（弥生は3名利用）過去には上浦、鶴見にも訪問。
金田統括：遠方は複数回の訪問は難しい。
清田様：鶴岡は認知度がある。広告として民生委員にお会いする。
戸高様：サービスの届かない場所にサービスを行ってあげたい。（本匠など）
田島様：母は最初は薬も飲めない状況だったけど飲めるようになった。掃除・洗濯できなく物忘れ。同居をいつからしたら良いのか悩んでいる。
高橋 s w：つくしの要介護が全員定期になっている。認知があるので介護1の方。

介護の方が調査があると要支援になるのではないのかそわそわしている。
※ケアマネ協会でも事例提出をする。

7：次回開催予定
H28・11月予定

8：閉会